

県庁内 控室 静岡市葵区追手町9-6 TEL.054-221-3510
 浜松市西区入野町9860-1 TEL.053-440-7100
 taguchi@suzuki-union.or.jp

浜松市西区 田口 章



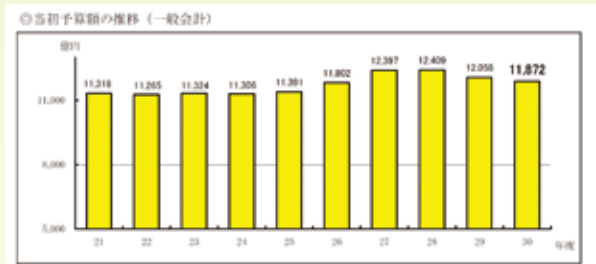
「世界の静岡」のスタートダッシュ

～静岡県議会2月定例会の話題から～

静岡県議会2月定例会は2月20日から3月16日までの25日間開催されました。平成30年度からスタートする新しい総合計画を推進するための予算や条例等88議案はすべて可決成立しました。以下に概要をお知らせします。(数字は四捨五入、増減は平成29年度当初予算比)

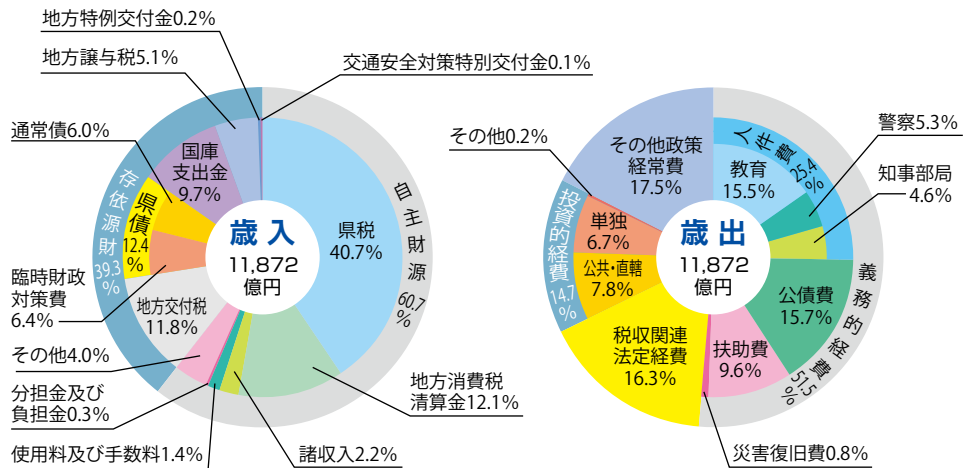
ここに注目 平成30年度当初予算の概要

一般会計は1兆1,872億円(△186億円、△1.5%)、政令市への教職員給与費移管による影響を除けば、ほぼ前年度並み(+0.5%)となっています。



●歳入

県税は4,830億円(+10億円、+0.2%)。法人2税1,443億円(+160億円)は企業収益改善により増。個人県民税1,244億円(△216億円)は政令市への税源移譲により減。地方交付税1,405億円(+30億円)の増により、臨時財政対策債は760億円(△20億円)と微減。通常の県債は715億円(+21億円)となり起債総額は前年度並みです。



●歳出

扶助費は1,143億円(+58億円)と年々増加しており、少子高齢社会における負担増が課題です。投資的経費1,741億円(+48億円)はピーク時の平成8年度の4,964億円に比べると1/3ほどの水準であり、インフラ資産の維持管理は大きな課題となっています。税金関連法定経費の減(△171億円)のうち△245億円は政令市への税源移譲の影響です。

●県債・基金残高

一般会計の県債残高は2兆7,511億円と高止まり。通常債は減少しているものの臨時財政対策債の増に歯止めがかかっていません。

活用可能基金は313億円と増えています。一方、2月補正予算では約136億円の県税増はあるものの300億円余の起債があり、一層の行財政改革が必要です。



静岡県の新ビジョン

富国・有徳の「美しい“ふじのくに”」の 人づくり・富づくり

県は平成30年度から10年間の新しい総合計画を策定しました。人口減少や少子高齢化という課題に加え、安全安心な県民生活を支えるための自然災害対策や産業の育成は不可欠です。こうした中「ICTやAIの進展」「SDGs（持続可能な開発目標）」などグローバル規模の変化に鑑み、「世界から見た“ふじのくに”」という視点に立って魅力ある地域づくりを進めていきます。

新ビジョンの目指す姿「県民幸福度の最大化」

生まれてよし
老いてよし

生んでよし
育ててよし

学んでよし
働いてよし

住んでよし
訪れてよし



新ビジョンの「4つの基本方向と8つの政策体系」と 平成30年度の主な事業

●安全・安心な地域づくり●

①命を守る安全な地域づくり (698億円)

津波対策126億円
(うち浜松市沿岸域47.7億円)、
浜松西警察署(仮称)19億円など



浜松市沿岸域の防潮堤

②安心して暮らせる 医療・福祉の充実(378億円)

医師・看護師確保等19億円、福祉人材確保4億円、
介護施設整備28億円など

●未来を担う有徳の人づくり●

③子どもが健やかに学び育つ社会の形成(417億円)

こども医療費助成21億円、保育所等整備28億円、保育所等運営費
助成122億円など

④誰もが活躍できる 社会の実現(78億円)

産業人材等確保5億円、
障がい者就労支援2億円、
多文化共生1億円など



外国人学校の授業

●豊かな暮らしの実現●

⑤富をつくる産業の展開 (342億円)

次世代産業等支援21億円
(うちEV・自動運転化対応2億円)、
先端農業プロジェクト8億円など



浜松市での自動運転実証実験

⑥多彩なライフスタイルの 提案(42億円)

光ファイバ網整備推進事業2億円、
地産エネルギー支援創出2億円など

●魅力の発信と交流の拡大●

⑦“ふじのくに”の魅力の向上と発信(85億円)

ラグビーワールドカップ2019関連事業17億円、
東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業15億円、
SPAC支援3億円など

⑧世界の人々との 交流の拡大(353億円)

海外誘客関連事業2億円、
富士山静岡空港旅客ターミナル
ビル増築改修工事26億円など



完成間近の空港ターミナルビル



清水港に入港するクルーズ船

●カギを握る観光交流人口の増

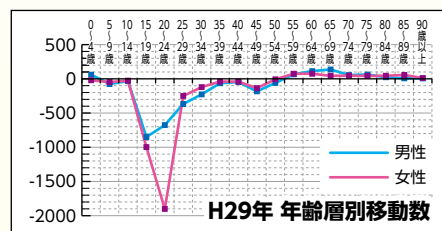
県は2019ラグビーW杯、2020東京五輪・パラリンピックの開催に向け、国内外からの観光客受け入れ態勢を整備してきました。海の玄関口・清水港では国際クルーズ船の寄港が年々増え、空の玄関口・富士山静岡空港ではターミナルビルの改修のほか民間事業者による活性化に取り組みます。さらに県内自治体とJRの連携で大型観光誘客デスティネーションキャンペーン「アッパレしずおか元気旅」(2018年4-6月プレ、2019年4-6月本番、2020年4-6月アフター)を展開します。

静岡県の人口移動状況

暦年	転入	転出	差	全国順位
H24	51,969	-55,921	-3,952	40
H25	50,407	-57,299	-6,892	46
H26	48,814	-56,054	-7,240	46
H27	50,639	-56,845	-6,206	43
H28	49,211	-55,601	-6,390	44
H29	50,088	-55,330	-5,242	40

●産業育成とUIターンで人口流出に歯止めを

平成29年、静岡県の転入転出の差は▲5,242人の転出超過になりました。前年の▲6,390人からは改善していますが、依然、若年層の流出が顕著です。産業育成により働く場所の確保を進めるとともに、20の大学との協定締結や「30歳になったら静岡県!」などの取り組みを通し、大学卒業後や30代前半層までの若い世代のUIターンを強化します。



新たな 行革に 向けて

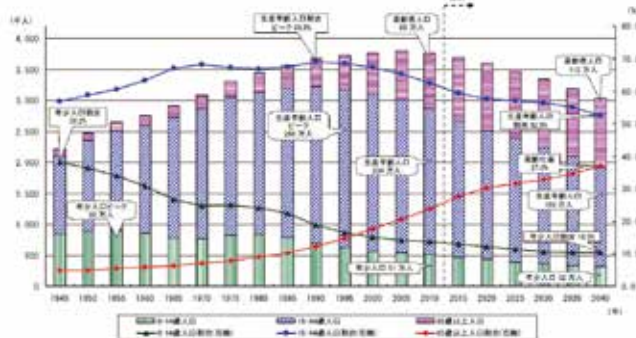
「静岡県行政経営革新プログラム」を策定

今後、人口減少・少子高齢化はさらに進みます。労働力人口が減る中、社会保障関係費とインフラ施設の維持管理費はますます増加が見込まれます。これらを踏まえ県は上記プログラムを策定しました。

「現場に立脚した生産性の高い行政経営」を方針に掲げ「県民参画の促進」「民間・市町・地域との連携協働」や「健全な財政運営」「効果的な事務執行」などに取り組むこととしています。

私は「地方監査会計技能士(CIPFAJapan)」としてこれまでも「全体最適」や「広域連携」、「公会計改革」などに取り組んできましたが、引き続き「公会計の活用」や「共創(Co-creation)」など先進事例の調査研究を進め、引き続き将来を見守る行財政改革を提言していきます。

年齢階級別人口推移と将来推計



社会保障関係費の推移



将来負担の見通し(公共建築物)



将来負担の見通し(インフラ資産)





拡がるシェアリングエコノミー

「住宅宿泊事業法第18条に基づく住宅宿泊事業の実施の制限に関する条例」を制定

6月に施行される「住宅宿泊事業法(民泊新法)」に関し利用の制限を設けるために制定されました。

シェアリングエコノミーのひとつ「民泊」は旺盛なインバウンド需要への対応として注目されていますが、手軽に安く泊まれるメリットの反面、住民の生活環境への影響などが懸念されます。県は学校等周辺100m区域や住宅専用地域等における平日の民泊実施を制限することとしました。

民泊の他にもカーシェアリングや遊休施設活用、体験型ローカルツアーガイドなどシェアリングエコノミーは広がりを見せており、これらの活用によりシニアや子育て女性など多くの人々の社会参加が進むと期待されています。シェアリングエコノミーはますます拡大する見込みです。浜松市はいち早く「シェアリングシティ宣言」を行いHPで取り組みを紹介しています。

進むユニバーサル社会

議員提案で「手話言語条例」を制定

聴覚障がい者にとっての言語、それは手話です。手話は音声によらない目で見える“視覚言語”であり、聴覚障がい者だけでなく、聴覚障がい者以外の人との意思疎通を図るための大切な“ことば”です。

この条例の制定で手話の普及を促進することにより、視覚障がい者を含む誰もが暮らしやすい社会を目指していきます。浜松市は県に先立ち条例を制定していますが、今後は県下全域で取り組みを進めていきます。

静岡県は平成11年に全国で初めてユニバーサルデザイン(UD)の理念を導入し、障がいのある人もない人も、すべての人がお互いを尊重し合い、自分らしく暮らせる社会の実現に向け取り組んできました。大切なのは“心のUD”です。障がいの有無だけでなく、年齢や性別、国籍を問わず、誰もが安心して暮らせる静岡県を創っていきましょう。

地域の
みなさまとの
意見交換会

“ふじのくに”ふれあいトーク会 開催のお知らせ

今年も恒例のミニ集会を開催します。紙面の記事等県政の話題をご報告するほか、みなさまの関心事をおうかがいし、反映していきます。お誘いあわせの上、お近くの会場にお気軽にお越しください(参加無料)。

開催時刻

①のみ16時～17時、それ以外は18時30分～19時30分となります。ご注意ください。

- ① 4/14(土) 伊佐見協働センター
- ② 4/17(火) 篠原協働センター
- ③ 4/18(水) 舞阪協働センター
- ④ 4/19(木) 神久呂協働センター
- ⑤ 4/20(金) 入野協働センター
- ⑥ 4/23(月) 雄踏文化センター
- ⑦ 4/25(水) 和地協働センター
- ⑧ 4/26(木) 庄内協働センター



昨年のふれあいトーク会

お問い合わせは053-447-3820(担当:池島・齋藤)までお願いします。

ラジオでお届け!
県政情報



ふじのくに県民クラブでは毎週土曜日午後5時から、FM Haro!76.1「遊佐ちえみの聞いちゃえ!しずおかの政治」をお届けしています。パーソナリティの遊佐ちえみさんのような若い皆さんに身近に感じていただけるようなわかりやすい情報提供に努めています。

私は第4週の担当です。ぜひ聴いてください。

第4土曜日
17:00より!

創ろう!元気な浜松&静岡県

田口 章 は持ち前のフットワークで、元気いっぱい活動しています。日常の活動は、ホームページやブログでも報告しています。インターネットがご利用できる方はぜひご覧ください。



田口章 で 検索

